

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 7 日

上場会社名	株式会社オリエンタルランド	上場取引所	東証一部
コード番号	4661	URL	http://www.olc.co.jp
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 福島 祥郎	
問合せ先責任者	(役職名) 経理部長	(氏名) 横田 明宜	

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
20 年 3 月期第 3 四半期	266,787	0.3	37,285	6.9	34,684	8.5	20,707	11.9
19 年 3 月期第 3 四半期	266,028	3.2	34,863	12.3	31,955	13.0	18,507	11.9
19 年 3 月期	344,082	—	34,110	—	30,187	—	16,309	—

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	217	70	—	—
19 年 3 月期第 3 四半期	194	57	—	—
19 年 3 月期	171	46	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	％	円	銭	
20 年 3 月期第 3 四半期	715,503	396,703	396,703	396,703	55.4	4,169	00	
19 年 3 月期第 3 四半期	693,690	387,505	387,505	387,505	55.8	4,072	39	
19 年 3 月期	699,772	385,000	385,000	385,000	55.0	4,046	03	

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

通期の連結業績予想につきましては、平成 19 年 11 月 6 日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

連結業績予想について

本資料に記載されている平成 20 年 3 月期の連結業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、4 ページ「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】
1. 連結経営成績に関する定性的情報

テーマパーク事業が堅調であったことなどから、売上高は 266,787 百万円（前年同期比 0.3%増）となりました。加えて、同事業において固定費や人件費などが減少したことにより、営業利益は 37,285 百万円（同 6.9%増）となりました。

— セグメント別業績の概況 —

（単位：百万円）

	前年同四半期	当四半期	増減	増減率 (%)
売上高	266,028	266,787	758	0.3
テーマパーク事業	224,716	224,767	51	0.0
複合型商業施設事業	17,769	17,796	26	0.1
リテイル事業	13,424	12,768	△655	△4.9
その他の事業	10,118	11,455	1,336	13.2
営業利益（△は営業損失）	34,863	37,285	2,421	6.9
テーマパーク事業	32,130	33,815	1,684	5.2
複合型商業施設事業	1,245	1,520	275	22.1
リテイル事業	△638	△78	560	—
その他の事業	1,966	1,668	△297	△15.1
消去又は全社	159	358	199	124.9
経常利益	31,955	34,684	2,728	8.5
四半期純利益	18,507	20,707	2,200	11.9

【テーマパーク事業】：東京ディズニーランド、東京ディズニーシー、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ など

入園者数は前年同期を若干下回ったものの、ゲスト1人当たり売上高が前年同期を若干上回ったこと、費用の抑制ができたことにより増益となりました。

売上高 224,767百万円（前年同期比0.0%増）

東京ディズニーランドでは、第1四半期にはスペシャルイベント「リロ&スティッチのフリフリ大騒動 ～Find Stitch!～」を、第2四半期にはアトラクション「カリブの海賊」のリニューアルオープンやそれに合わせたウォータープログラムを、当第3四半期には例年ご好評をいただいております「ディズニー・ハロウィーン」、「クリスマス・ファンタジー」を開催いたしました。東京ディズニーシーでは、前期にオープンした新アトラクション「タワー・オブ・テラー」が引き続きご好評いただいたことに加え、5月まで東京ディズニーシー5周年のファイナルプログラムを、当第3四半期には「ハーバーサイド・クリスマス」などを開催いたしました。しかしながら、東京ディズニーシー5周年の翌年であることなどから、入園者数は前年同期を若干下回りました。

テーマパークのゲスト1人当たり売上高は、前年同期を若干上回りました。チケット収入は、2006年9月にチケット料金改定を行ったことなどにより前年同期を上回りました。商品販売収入は、東京ディズニーランド商品店舗リニューアル工事の影響などにより前年同期を下回りました。飲食販売収入は、前年同期を若干上回りました。

東京ディズニーシー・ホテルミラコスタでは、オープン5周年ならではのプログラムや、東京ディズニーシーのスペシャルイベントと連動したプログラムなどを実施し、客室稼働率は前年同期とほぼ同様となりました。

営業利益 33,815百万円（同5.2%増）

税制改正の影響による減価償却費の増加などがあったものの、販促活動費などの固定費の低減や人件費の減少により、営業利益は増加いたしました。

【複合型商業施設事業】：イクスピアリ、ディズニーアンバサダーホテル など

イクスピアリ、ディズニーアンバサダーホテルともに好調に推移し、増益となりました。

売上高 17,796百万円（同0.1%増）

イクスピアリでは、7月7日のオープン7周年にあわせた記念アイテムやスペシャルメニューの提供、例年好評を博しております「イクスピアリ・ハロウィーン」や「ピアリ・クリスマス」など、イクスピアリ独自のイベントを開催したほか、新店舗の導入や店舗のリニューアルを実施いたしました。

ディズニーアンバサダーホテルでは、東京ディズニーランドのスペシャルイベントと連動したイベントを展開したことに加え、前期に実施した客室などの全面的なリニューアルを当期は実施しなかったことなどから、客室稼働率は前年同期を若干上回りました。

営業利益 1,520百万円（同22.1%増）

前期に発生したディズニーアンバサダーホテルの全面リニューアル費用が当期は発生しなかったことなどにより、営業利益は増加いたしました。

【リテイル事業】：ディズニーストア

減収となったものの、費用構造改革に努めた結果、営業損失は縮小いたしました。

売上高 12,768百万円（同4.9%減）

ディズニーストアでは、オープン15周年記念商品や、クリスマスにディズニーストアオリジナルのデコレーション商品やギフト好適品といったプログラム商品を多数展開したほか、ロイヤルカスタマープログラム「ファンタミア」の会員向けのキャンペーンを充実させ会員獲得・購買促進を強化いたしました。一方、当第3四半期末の店舗数は、前年同期末から不採算店舗4店舗を閉店し、新たに2店舗をオープンしたことから2店舗減少し、52店舗となりました。これらの結果、売上高は前年同期を下回りました。

営業損失 78百万円（同560百万円の改善）

前期より引き続き実施している費用構造改革により、店舗賃料、物流費、本社オフィス賃料、人件費などが低減しました。また、当期は不採算店舗2店舗を閉店し、店舗収益構造の改善を進めました。その結果、営業損失は前年同期に比べ縮小いたしました。

【その他の事業】：パーム&ファウンテンテラスホテル、ディズニーリゾートライン など

増収となったものの、映画関連費用や新規施設の開業前準備費用などが発生し、減益となりました。

売上高 11,455百万円（同13.2%増）

パーム&ファウンテンテラスホテルでは、積極的な宣伝活動やオリジナルパッケージの販売など様々な施策を実施しましたが、客室稼働率は前年同期を若干下回りました。

ディズニーリゾートラインでは、4月に運賃改定を行ったことにより売上高は増加いたしました。

このほか、映画関連収入、飲食販売収入などが増加いたしました。

営業利益 1,668百万円（同15.1%減）

売上高が増加した一方、映画関連費用や来期オープンする東京ディズニーランドホテルやシルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京の開業前準備費用などを計上したため、営業利益は減少いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

【資産の部】

当第3四半期末の資産の部合計は、715,503百万円（前期末比2.2%増）となりました。

流動資産は、投資有価証券から有価証券への振り替えを行ったことや、現金及び預金が増加したことなどにより、137,247百万円（同32.3%増）となりました。

固定資産では、東京ディズニーリゾート各施設の減価償却が進んだ一方、東京ディズニーランドホテルなどの設備投資を行ったことなどから有形固定資産は前期末と同様となりました。また、投資有価証券から有価証券への振り替えが発生したことなどにより投資その他の資産が減少したことから、固定資産は578,255百万円（同3.0%減）となりました。

【負債の部】

当第3四半期末の負債の部合計は、318,800百万円（同1.3%増）となりました。

流動負債は、2008年4月に償還予定の第1回無担保社債（100,000百万円）を固定負債から流動負債に振り替えたことなどにより、168,987百万円（同129.9%増）となりました。

固定負債は、地震対応のコミットメントラインに基づいた借入（10,000百万円）を行った一方、第1回無担保社債を固定負債から流動負債に振り替えたことなどにより、149,813百万円（同37.9%減）となりました。

なお、当第3四半期期末の有利子負債残高は244,974百万円（同4.0%増）となりました。

【純資産の部】

当第3四半期末の純資産の部合計は、四半期純利益が増加したことにより396,703百万円（同3.0%増）となり、自己資本比率は55.4%（同0.4ポイント増）となりました。なお、昨年6月には利益剰余金と相殺し自己株式5,000,000株を消却いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当四半期は、売上高はほぼ業績予想通り、営業利益は業績予想を上回って推移いたしました。しかしながら、費用の時期ずれやテーマパーク入園者数に対する天候リスクなどを踏まえ、現時点では通期の連結業績予想を変更いたしません。

当四半期の利益の通期予想に占める割合は、営業利益116.8%、経常利益124.6%、当期純利益127.1%となっております。これは、例年季節要因によって第4四半期のテーマパーク入園者数が他の四半期よりも比較的少なく、一方で営業時間の短いこの時期にアトラクションなどのメンテナンスを集中的に実施するなど、「第4四半期は売上高が低く固定経費が高い」という当社テーマパーク事業の特性に起因するものです。

なお、実際の業績等は、経済情勢・顧客の嗜好の変化・天候・災害などの影響により大きく異なる可能性があります。事業等のリスクについては、2007年6月28日に提出いたしました「第47期有価証券報告書」に記載されておりますのでご参照ください。

4. その他

該当事項はありません。

5.（要約）四半期連結財務諸表

(1)（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第3四半期末		当 四 半 期 末 〔平成20年3月期〕 第3四半期末		増 減 (△ 印 減)		(参 考) 前 期 末 (平成19年3月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I. 流 動 資 産								
1. 現 金 及 び 預 金	25,017		27,470		2,452		25,393	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	13,186		13,898		712		12,210	
3. 有 価 証 券	49,380		68,653		19,273		44,472	
4. た な 卸 資 産	11,326		12,642		1,315		8,965	
5. そ の 他	16,108		14,583		△ 1,525		12,684	
6. 貸 倒 引 当 金	△ 0		△ 0		0		△ 0	
流 動 資 産 合 計	115,018	16.6	137,247	19.2	22,229	19.3	103,725	14.8
II. 固 定 資 産								
(1) 有形固定資産								
1. 本 勘 定	501,909		485,592		△ 16,317		499,393	
2. 建 設 仮 勘 定	16,765		41,996		25,230		26,823	
有 形 固 定 資 産 合 計	518,675	74.8	527,588	73.7	8,912	1.7	526,216	75.2
(2) 無形固定資産	13,662	1.9	13,473	1.9	△ 188	△ 1.4	13,738	2.0
(3) 投資その他の資産								
1. そ の 他	46,525		37,803		△ 8,721		56,283	
2. 貸 倒 引 当 金	△ 190		△ 609		△ 418		△ 190	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	46,334	6.7	37,193	5.2	△ 9,140	△ 19.7	56,092	8.0
固 定 資 産 合 計	578,672	83.4	578,255	80.8	△ 416	△ 0.1	596,047	85.2
資 産 合 計	693,690	100.0	715,503	100.0	21,813	3.1	699,772	100.0
(負債の部)								
I. 流 動 負 債								
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	14,582		13,354		△ 1,227		15,367	
2. 一 年 以 内 に 償 還 す る 社 債	—		100,000		100,000		—	
3. 未 払 法 人 税 等	8,702		7,393		△ 1,309		10,051	
4. そ の 他	40,416		48,239		7,823		48,100	
流 動 負 債 合 計	63,700	9.2	168,987	23.6	105,286	165.3	73,520	10.5
II. 固 定 負 債								
1. 社 債	169,984		69,986		△ 99,997		169,984	
2. 長 期 借 入 金	50,000		60,000		10,000		50,000	
3. そ の 他	22,500		19,826		△ 2,674		21,266	
固 定 負 債 合 計	242,484	34.9	149,813	21.0	△ 92,671	△ 38.2	241,251	34.5
負 債 合 計	306,185	44.1	318,800	44.6	12,615	4.1	314,771	45.0
(純資産の部)								
I. 株 主 資 本								
1. 資 本 金	63,201	9.1	63,201	8.8	—	—	63,201	9.0
2. 資 本 剰 余 金	111,403	16.1	111,403	15.6	—	—	111,403	15.9
3. 利 益 剰 余 金	236,130	34.0	218,680	30.6	△ 17,449	△ 7.4	233,932	33.5
4. 自 己 株 式	△ 30,264	△ 4.4	△ 15	△ 0.0	30,249	—	△ 30,265	△ 4.3
株 主 資 本 合 計	380,470	54.8	393,270	55.0	12,800	3.4	378,270	54.1
II. 評 価 ・ 換 算 差 額 等								
1. そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	6,627	1.0	3,066	0.4	△ 3,561	△ 53.7	6,348	0.9
2. 繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	269	0.1	218	0.0	△ 50	△ 18.7	240	0.0
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	6,896	1.1	3,285	0.4	△ 3,611	△ 52.4	6,588	0.9
III. 少 数 株 主 持 分	138	0.0	148	0.0	9	6.9	141	0.0
純 資 産 合 計	387,505	55.9	396,703	55.4	9,197	2.4	385,000	55.0
負 債 純 資 産 合 計	693,690	100.0	715,503	100.0	21,813	3.1	699,772	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期		当 四 半 期 〔平成20年3月期〕 第3四半期		増 減 (△ 印 減)		(参 考) 前 期 (平成19年3月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
		%		%		%		%
I. 売 上 高	266,028	100.0	266,787	100.0	758	0.3	344,082	100.0
II. 売 上 原 価	206,838	77.8	205,021	76.8	△ 1,817	△ 0.9	276,855	80.5
売 上 総 利 益	59,190	22.2	61,765	23.2	2,575	4.4	67,226	19.5
III. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	24,326	9.1	24,480	9.2	153	0.6	33,116	9.6
営 業 利 益	34,863	13.1	37,285	14.0	2,421	6.9	34,110	9.9
IV. 営 業 外 収 益	1,128	0.4	1,619	0.6	491	43.5	1,441	0.4
V. 営 業 外 費 用	4,036	1.5	4,220	1.6	184	4.6	5,364	1.5
経 常 利 益	31,955	12.0	34,684	13.0	2,728	8.5	30,187	8.8
VI. 特 別 利 益	181	0.1	—	—	△ 181	—	181	0.0
VII. 特 別 損 失	624	0.3	550	0.2	△ 74	△ 12.0	1,505	0.4
税金等調整前四半期(当期)純利益	31,512	11.8	34,134	12.8	2,622	8.3	28,863	8.4
法人税、住民税及び事業税	13,066	4.9	11,841	4.4	△ 1,225	△ 9.4	14,284	4.2
法人税等調整額	△ 67	△ 0.1	1,578	0.6	1,646	—	△ 1,738	△ 0.5
少数株主利益	5	0.0	6	0.0	0	17.0	8	0.0
四半期(当期)純利益	18,507	7.0	20,707	7.8	2,200	11.9	16,309	4.7

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期（平成20年3月期 第3四半期）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成19年3月31日残高	63,201	111,403	233,932	△ 30,265	378,270
当四半期中の変動額					
剰余金の配当			△ 5,707		△ 5,707
四半期純利益			20,707		20,707
自己株式の取得				△ 1	△ 1
自己株式の消却			△ 30,251	30,251	—
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額（純額）					
当四半期中の変動額合計	—	—	△ 15,251	30,250	14,999
平成19年12月31日残高	63,201	111,403	218,680	△ 15	393,270

	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	6,348	240	6,588	141	385,000
当四半期中の変動額					
剰余金の配当					△ 5,707
四半期純利益					20,707
自己株式の取得					△ 1
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額（純額）	△ 3,281	△ 21	△ 3,303	6	△ 3,296
当四半期中の変動額合計	△ 3,281	△ 21	△ 3,303	6	11,702
平成19年12月31日残高	3,066	218	3,285	148	396,703